

令和4年度 当初予算(案)の概要



令和4年2月
磐田市

目 次

1	令和4年度磐田市予算総括表	1
2	一般会計の概要	
	(1) 目的別予算の状況(款別)	3
	(2) 性質別予算の状況	11
	(3) 一般会計予算額等の推移	16
	(4) 市債・基金残高の推移	17
3	その他の会計の概要	
	(1) 特別会計	19
	(2) 企業会計	21

【参考資料】

	令和4年度予算編成の基本方針	22
--	----------------	----

注)本資料における表及びグラフの各区分ごとの比率や金額は、四捨五入による端数処理のため、各区分の数値を合計した場合、合計欄の数値と一致しない場合があります。

1. 令和4年度磐田市予算総括表

(単位：千円、%)

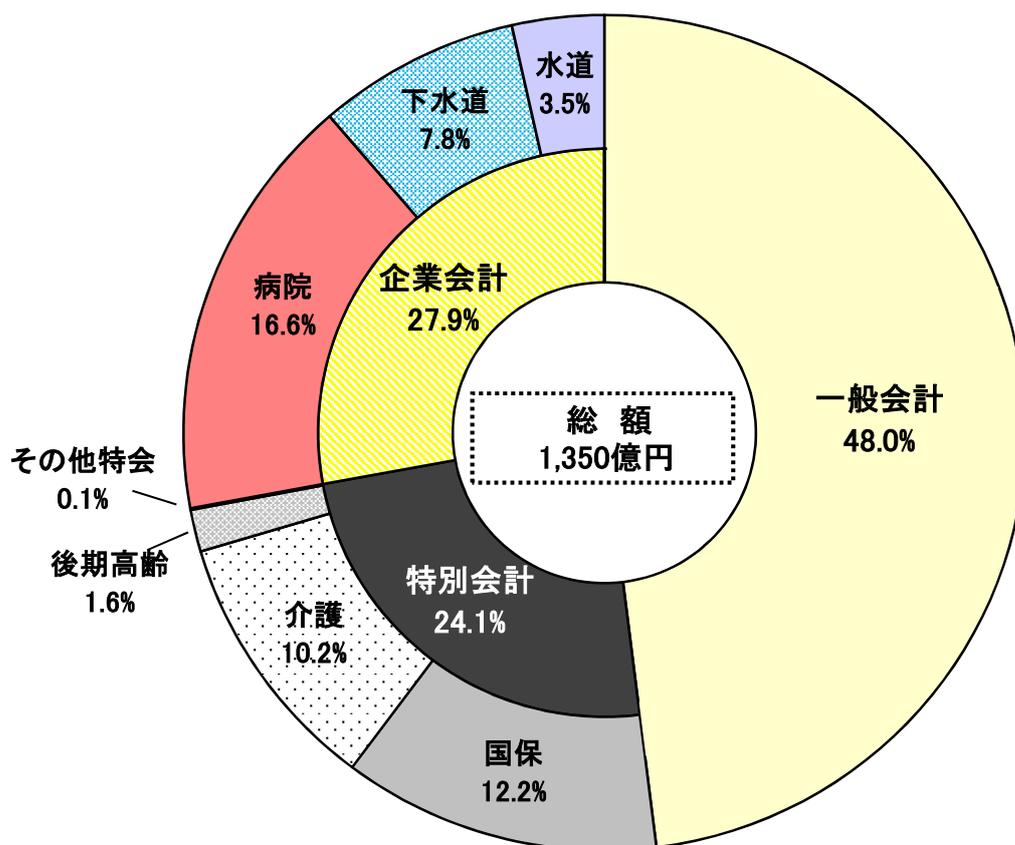
会計名称	令和4年度予算額	令和3年度予算額	増減額	伸率
一般会計	64,830,000	67,180,000	△ 2,350,000	△ 3.5
駐車場事業特別会計	86,007	82,383	3,624	4.4
国民健康保険事業特別会計	16,473,804	16,885,601	△ 411,797	△ 2.4
後期高齢者医療事業特別会計	2,183,823	2,002,720	181,103	9.0
介護保険事業特別会計	13,764,422	13,399,340	365,082	2.7
広瀬財産区特別会計	211	198	13	6.6
岩室財産区特別会計	77	77	0	0.0
虫生財産区特別会計	140	204	△ 64	△ 31.4
万瀬財産区特別会計	475	457	18	3.9
特別会計合計	32,508,959	32,370,980	137,979	0.4

水道事業会計	収益	収入	3,017,389	3,001,896	15,493	0.5
		支出	2,857,990	2,711,174	146,816	5.4
	資本	収入	656,886	624,365	32,521	5.2
		支出	1,910,713	1,880,735	29,978	1.6
下水道事業会計	収益	収入	6,357,128	6,662,646	△ 305,518	△ 4.6
		支出	5,989,640	6,098,426	△ 108,786	△ 1.8
	資本	収入	2,552,038	1,567,824	984,214	62.8
		支出	4,526,310	3,741,063	785,247	21.0
病院事業会計	収益	収入	18,974,993	18,220,698	754,295	4.1
		支出	19,543,027	18,688,386	854,641	4.6
	資本	収入	1,942,001	2,442,569	△ 500,568	△ 20.5
		支出	2,835,255	3,298,505	△ 463,250	△ 14.0
企業会計合計 (※)			37,662,935	36,418,289	1,244,646	3.4

(※) 収益的支出と資本的支出の合計額

全体合計	135,001,894	135,969,269	△ 967,375	△ 0.7
------	-------------	-------------	-----------	-------

会計別予算額の構成比



予算規模の概要

1 一般会計

前年度比 23億5,000万円、3.5%減の648億3,000万円です。

新型コロナウイルスワクチンの3回目追加接種に要する経費の増額や民間認可保育園等の施設型給付費、こども医療費助成等、扶助費の増額などはあるものの、磐田市民文化会館の建設工事の完了、また、ながふじ学府小中一体校、今之浦公園・今之浦市有地、防災備蓄ステーションなどの整備完了による普通建設事業費の減額が大きく、一般会計全体では減額となりました。

2 特別会計

前年度比 1億3,797万9千円、0.4%増の325億895万9千円です。

被保険者数の減などに伴う給付費の減少による国民健康保険事業特別会計の減額はあるものの、高齢者人口の増などに伴う給付費の増加による介護保険事業特別会計の増額や、被保険者数の増などに伴う広域連合への納付金の増加による後期高齢者医療事業特別会計の増額により、特別会計全体では増額となりました。

3 企業会計

前年度比 12億4,464万6千円、3.4%増の376億6,293万5千円です。

大島排水ポンプ場建設工事や污水管渠新設工事の増などに伴う下水道事業会計の増額や、薬品費の増などに伴う病院事業会計の増額により、企業会計全体では増額となりました。

2. 一般会計の概要

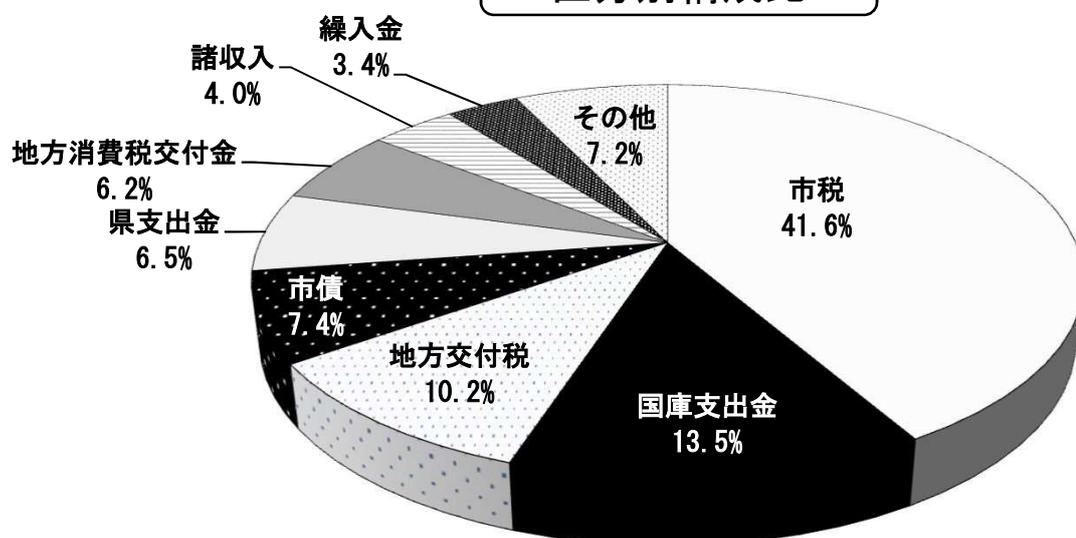
(1) 目的別予算の状況(款別)

① 歳入

(単位：千円、%)

区分(款)	令和4年度		令和3年度		増減額 C A-B	伸率 C/B
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)		
1 市税	26,958,920	41.6	25,525,354	38.0	1,433,566	5.6
2 地方譲与税	722,000	1.1	686,750	1.0	35,250	5.1
3 利子割交付金	18,000	0.0	21,000	0.0	△ 3,000	△ 14.3
4 配当割交付金	130,000	0.2	106,000	0.2	24,000	22.6
5 株式等譲渡所得割交付金	210,000	0.3	135,000	0.2	75,000	55.6
6 法人事業税交付金	470,000	0.7	400,000	0.6	70,000	17.5
7 地方消費税交付金	4,000,000	6.2	3,900,000	5.8	100,000	2.6
8 ゴルフ場利用税交付金	38,000	0.1	32,000	0.0	6,000	18.8
9 環境性能割交付金	115,000	0.2	94,000	0.1	21,000	22.3
10 地方特例交付金	254,000	0.4	745,000	1.1	△ 491,000	△ 65.9
11 地方交付税	6,600,000	10.2	6,100,000	9.1	500,000	8.2
12 交通安全対策特別交付金	42,000	0.1	40,000	0.1	2,000	5.0
13 分担金及び負担金	334,786	0.5	320,091	0.5	14,695	4.6
14 使用料及び手数料	719,630	1.1	747,999	1.1	△ 28,369	△ 3.8
15 国庫支出金	8,748,267	13.5	7,930,759	11.8	817,508	10.3
16 県支出金	4,204,000	6.5	4,026,902	6.0	177,098	4.4
17 財産収入	81,282	0.1	149,342	0.2	△ 68,060	△ 45.6
18 寄附金	1,406,306	2.2	957,741	1.4	448,565	46.8
19 繰入金	2,217,262	3.4	2,817,702	4.2	△ 600,440	△ 21.3
20 繰越金	150,000	0.2	150,000	0.2	0	0.0
21 諸収入	2,614,647	4.0	2,710,760	4.0	△ 96,113	△ 3.5
22 市債	4,795,900	7.4	9,583,600	14.3	△ 4,787,700	△ 50.0
歳入合計	64,830,000	100.0	67,180,000	100.0	△ 2,350,000	△ 3.5

区分別構成比

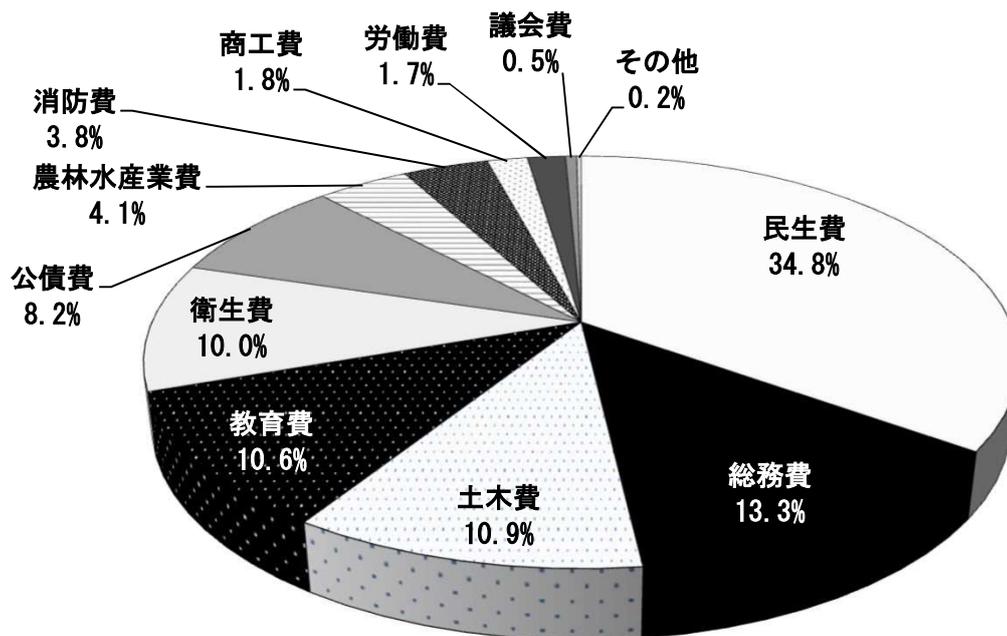


② 歳出

(単位：千円、%)

区 分 (款)	令和4年度		令和3年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)		
1 議会費	345,711	0.5	342,819	0.5	2,892	0.8
2 総務費	8,627,824	13.3	12,668,978	18.9	△ 4,041,154	△ 31.9
3 民生費	22,552,436	34.8	21,993,318	32.7	559,118	2.5
4 衛生費	6,510,559	10.0	5,733,041	8.5	777,518	13.6
5 労働費	1,116,591	1.7	1,194,710	1.8	△ 78,119	△ 6.5
6 農林水産業費	2,678,332	4.1	2,162,210	3.2	516,122	23.9
7 商工費	1,162,493	1.8	1,092,713	1.6	69,780	6.4
8 土木費	7,036,174	10.9	6,958,795	10.4	77,379	1.1
9 消防費	2,488,739	3.8	2,379,484	3.5	109,255	4.6
10 教育費	6,902,454	10.6	6,956,762	10.4	△ 54,308	△ 0.8
11 災害復旧費	5	0.0	5	0.0	0	0.0
12 公債費	5,308,682	8.2	5,597,165	8.3	△ 288,483	△ 5.2
13 予備費	100,000	0.2	100,000	0.1	0	0.0
歳出合計	64,830,000	100.0	67,180,000	100.0	△ 2,350,000	△ 3.5

区分別構成比



③ 市税の概要

(単位：千円)

税目	令和4年度	構成比(%)	令和3年度	構成比(%)	増減額	伸率(%)
市民税	11,001,969	40.8	10,121,086	39.7	880,883	8.7
現年課税分	10,920,824		9,995,799		925,025	9.3
滞納繰越分	81,145		125,287		△ 44,142	△ 35.2
個人	9,538,478		8,805,728		732,750	8.3
現年課税分	9,458,319		8,695,851		762,468	8.8
滞納繰越分	80,159		109,877		△ 29,718	△ 27.0
法人	1,463,491		1,315,358		148,133	11.3
現年課税分	1,462,505		1,299,948		162,557	12.5
滞納繰越分	986		15,410		△ 14,424	△ 93.6
固定資産税	12,919,302	47.9	12,461,377	48.8	457,925	3.7
固定資産税	12,898,280		12,439,924		458,356	3.7
現年課税分	12,858,623		12,255,441		603,182	4.9
滞納繰越分	39,657		184,483		△ 144,826	△ 78.5
国有資産等交付金	21,022		21,453		△ 431	△ 2.0
現年課税分	21,022		21,453		△ 431	△ 2.0
軽自動車税	623,547	2.3	568,875	2.2	54,672	9.6
環境性能割	33,456		21,490		11,966	55.7
現年課税分	33,456		21,490		11,966	55.7
種別割	590,091		547,385		42,706	7.8
現年課税分	587,097		542,926		44,171	8.1
滞納繰越分	2,994		4,459		△ 1,465	△ 32.9
市たばこ税	927,736	3.4	923,246	3.6	4,490	0.5
現年課税分	927,736		923,246		4,490	0.5
入湯税	1	0.0	2,340	0.0	△ 2,339	△ 100.0
都市計画税	1,486,365	5.5	1,448,430	5.7	37,935	2.6
現年課税分	1,480,481		1,431,041		49,440	3.5
滞納繰越分	5,884		17,389		△ 11,505	△ 66.2
合計	26,958,920	100.0	25,525,354	100.0	1,433,566	5.6
現年課税分	26,829,240		25,193,736		1,635,504	6.5
滞納繰越分	129,680		331,618		△ 201,938	△ 60.9

1 市民税

個人市民税は、景気回復による給与所得者の増加を見込み、前年度比8.3%、7億3,275万円の増額、法人市民税は、コロナ禍による業績悪化から持ち直しの兆しがみられることから、前年度比11.3%、1億4,813万3千円の増額を見込み、全体では前年度比8.7%、8億8,088万3千円増の110億196万9千円を見込みました。

2 固定資産税

家屋の新增築による増額、コロナ禍対策としての家屋・償却資産にかかる軽減措置終了により、全体では前年度比3.7%、4億5,792万5千円増の129億1,930万2千円を見込みました。

3 軽自動車税

環境性能割は、臨時的軽減の適用期間が終了し、種別割は、登録台数の増加などにより、全体では前年度比9.6%、5,467万2千円増の6億2,354万7千円を見込みました。

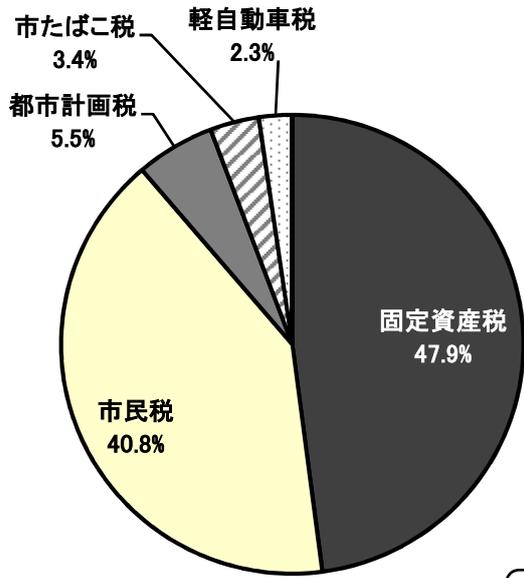
4 市たばこ税

消費実績を勘案し、前年度比0.5%、449万円増の9億2,773万6千円を見込みました。

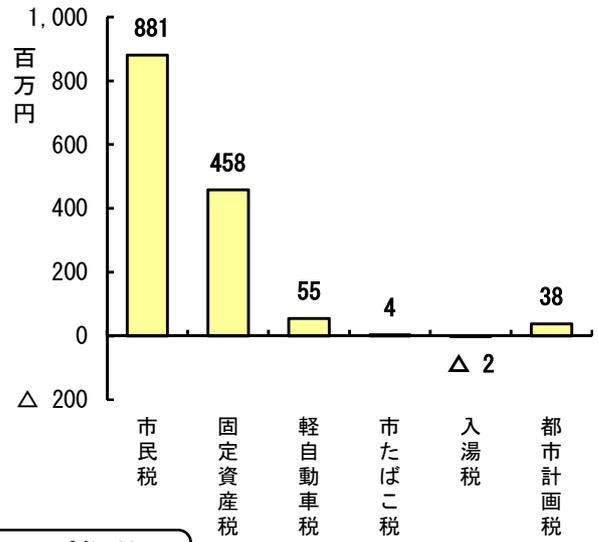
5 都市計画税

固定資産税同様に、家屋の新增築による増額、コロナ禍対策としての家屋にかかる軽減措置終了により、全体では前年度比2.6%、3,793万5千円増の14億8,636万5千円を見込みました。

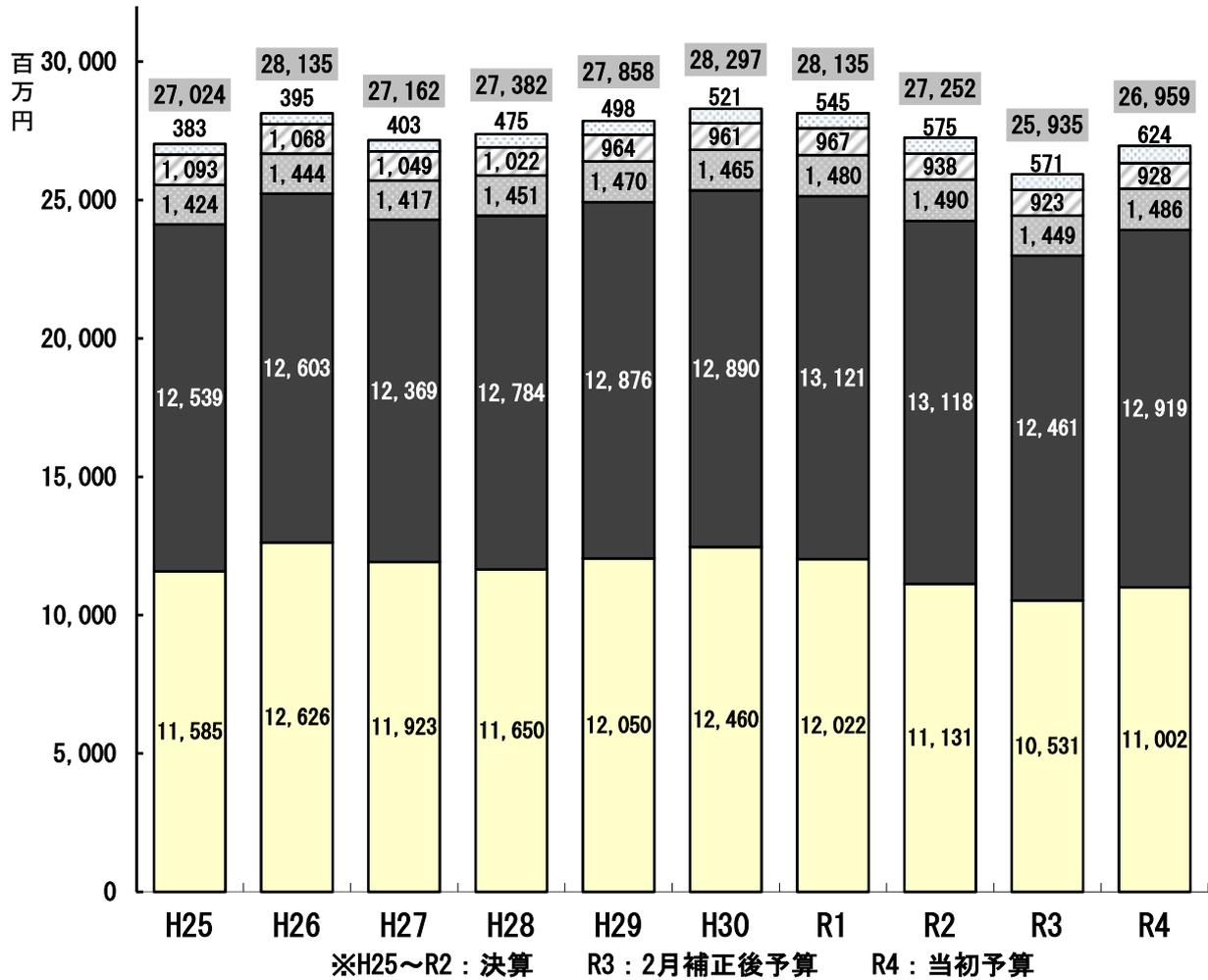
税目別構成



税目別対前年度増減額



税目別推移



□①市民税 ■②固定資産税 □③都市計画税 □④市たばこ税 □⑤その他の税 ■合計

④ その他の歳入の概要

1 譲与税・県税交付金

国の地方財政計画や令和2年度決算額、令和3年度の決算見込額などを勘案し、法人事業税交付金は前年度比7,000万円増の4億7,000万円、地方消費税交付金は前年度比1億円増の40億円を見込みました。

2 地方特例交付金

中小企業等の固定資産税等の軽減措置に伴う減収分を補てんするための「新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金」が減となったことにより、前年度比4億9,100万円減の2億5,400万円を見込みました。

3 地方交付税

普通交付税について、市税収入等の増に伴い、普通交付税算定上の財源不足額は減少が見込まれるものの、国の交付税総額が増加していることに加え、臨時財政対策債への振替割合などを勘案し、特別交付税と合わせ前年度比5億円増の66億円を見込みました。

4 分担金及び負担金

私立保育園入所者負担金の増や新屋橋橋梁補修工事に伴う負担金の増などにより、前年度比1,469万5千円増の3億3,478万6千円を見込みました。

5 使用料及び手数料

急患センター診療収入の減や公立保育園使用料の減などにより、前年度比2,836万9千円減の7億1,963万円を見込みました。

6 国庫支出金

新磐田スマートIC設置推進事業に係る社会資本整備総合交付金の皆減や保育所等整備交付金の減はあるものの、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る補助金・負担金の皆増や子どものための教育・保育給付交付金、鎌田第一土地区画整理支援事業に係る社会資本整備総合交付金の増などにより、前年度比8億1,750万8千円増の87億4,826万7千円を見込みました。

7 県支出金

静岡県知事選挙費委託金の皆減や地震・津波対策等減災交付金の減などはあるものの、子ども・子育て支援給付費負担金、こども医療費助成事業費補助金、地域産業立地事業費補助金の増などにより、前年度比1億7,709万8千円増の42億400万円を見込みました。

8 財産収入

普通財産貸付料や市有地の売却に係る土地売却収入の減などにより、前年度比6,806万円減の8,128万2千円を見込みました。

9 寄附金

ジュビロ磐田J1復帰・地域の元気づくり応援寄附金の減はあるものの、ふるさと納税寄附金の増などにより、前年度比4億4,856万5千円増の14億630万6千円を見込みました。

10 繰入金

財政調整基金繰入金の増はあるものの、公共施設整備基金繰入金や津波対策事業基金繰入金の減などにより、前年度比6億44万円減の22億1,726万2千円を見込みました。

11 諸収入

住宅建設資金協調融資制度貸付金元金収入の減や竜洋しおさい風力発電所売電料の皆減などにより、前年度比9,611万3千円減の26億1,464万7千円を見込みました。

12 市債

農林水産業債の海岸堤防整備事業の増や旧市民文化会館の解体に係る総務債の文化振興施設整備事業の皆増はあるものの、総務債の磐田市民文化会館の整備に係る文化振興施設整備事業や教育債のながふじ学府一体校整備事業の皆減などにより、総務債から教育債までの事業債合計は、前年度比34億8,770万円減の26億9,590万円を見込みました。

特例債である臨時財政対策債は、国の地方債計画で総額が減になっていること等を勘案し、前年度比13億円減の21億円を見込みました。

市債全体では、前年度比47億8,770万円減の47億9,590万円となりました。

⑤ 目的別歳出の概要

1 議会費

備品購入費の増などにより、前年度比 289 万2千円増の3億 4,571 万1千円を計上しました。

2 総務費

旧市民文化会館の建物解体工事に伴う旧市民文化会館・文化振興センター施設管理事業の増や、ふるさと納税推進事務の増などはあるものの、市民文化会館の建設完了に伴う(仮称)磐田市文化会館整備事業の皆減などにより、前年度比 40 億 4,115 万4千円減の 86 億 2,782 万4千円を計上しました。

3 民生費

民間認可保育園施設等整備事業の減などはあるものの、民間認可保育園等運営費補助事業やこども医療費助成事業の増などにより、前年度比5億 5,911 万8千円増の 225 億 5,243 万6千円を計上しました。

4 衛生費

中遠広域事務組合ごみ処理施設負担金の減などはあるものの、新型コロナウイルスワクチン接種事業の皆増などにより、前年度比7億 7,751 万8千円増の 65 億 1,055 万9千円を計上しました。

5 労働費

勤労者協調融資事業の減などにより、前年度比 7,811 万9千円減の 11 億 1,659 万1千円を計上しました。

6 農林水産業費

海岸堤防整備事業の増などにより、前年度比5億 1,612 万2千円増の 26 億 7,833 万2千円を計上しました。

7 商工費

企業立地推進事業の増などにより、前年度比 6,978 万円増の 11 億 6,249 万3千円を計上しました。

8 土木費

新磐田スマートIC設置推進事業の減はあるものの、鎌田第一土地区画整理支援事業や風力発電所施設管理事業の増などにより、前年度比 7,737 万9千円増の 70 億 3,617 万4千円を計上しました。

9 消防費

常備消防車両更新事業の増などにより、前年度比1億 925 万5千円増の 24 億 8,873 万9千円を計上しました。

10 教育費

向陽学府新たな学校づくり整備事業や小・中学校施設空調設置事業の皆増はあるものの、ながふじ学府新たな学校づくり整備事業の皆減などにより、前年度比 5,430 万8千円減の 69 億 245 万4千円を計上しました。

11 公債費

過去に借り入れた市債の償還終了などにより、前年度比2億 8,848 万3千円減の 53 億 868 万2千円を計上しました。

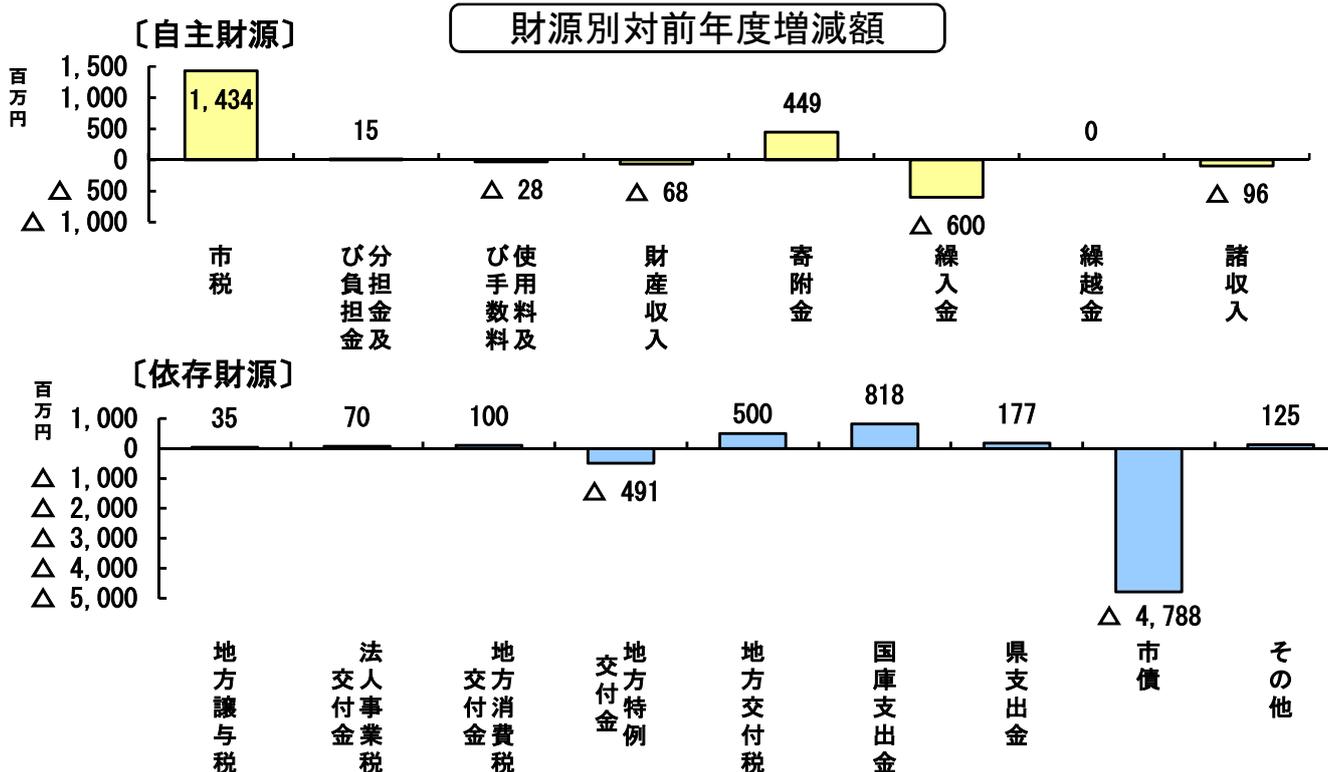
市債の年度末残高見込みは、令和2年度末が 533 億 7,150 万8千円、令和3年度末が 569 億 3,031 万円、令和4年度末が 565 億 9,126 万円です。

(2) 性質別予算の状況

① 歳入

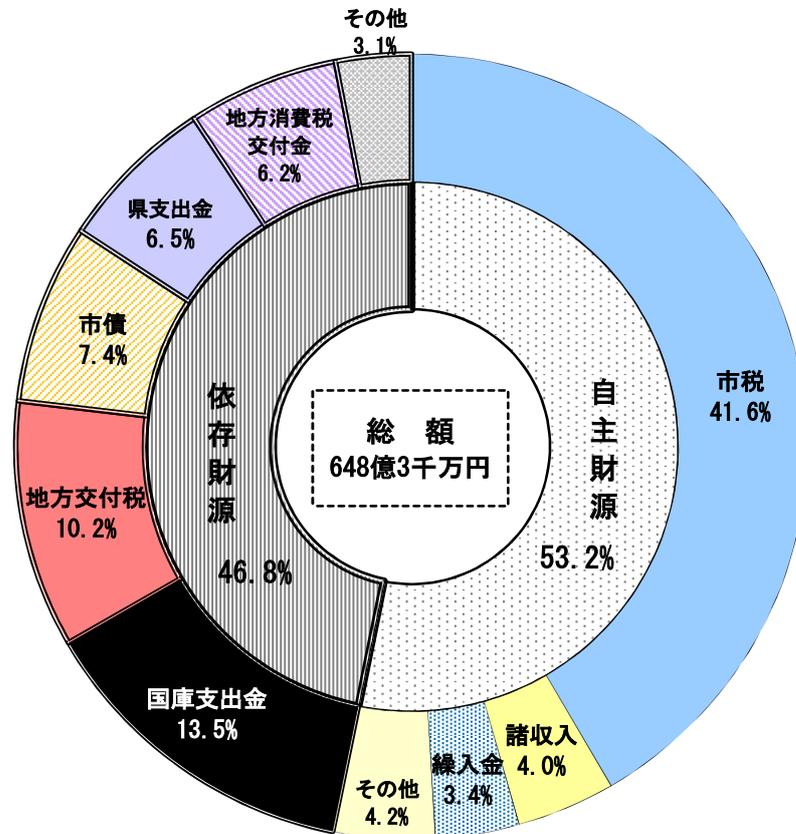
(単位：千円、%)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B	
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)			
自主財源	市税	26,958,920	41.6	25,525,354	38.0	1,433,566	5.6
	分担金及び負担金	334,786	0.5	320,091	0.5	14,695	4.6
	使用料及び手数料	719,630	1.1	747,999	1.1	△ 28,369	△ 3.8
	財産収入	81,282	0.1	149,342	0.2	△ 68,060	△ 45.6
	寄附金	1,406,306	2.2	957,741	1.4	448,565	46.8
	繰入金	2,217,262	3.4	2,817,702	4.2	△ 600,440	△ 21.3
	繰越金	150,000	0.2	150,000	0.2	0	0.0
	諸収入	2,614,647	4.0	2,710,760	4.0	△ 96,113	△ 3.5
	小 計	34,482,833	53.2	33,378,989	49.7	1,103,844	3.3
依存財源	地方譲与税	722,000	1.1	686,750	1.0	35,250	5.1
	利子割交付金	18,000	0.0	21,000	0.0	△ 3,000	△ 14.3
	配当割交付金	130,000	0.2	106,000	0.2	24,000	22.6
	株式等譲渡所得割交付金	210,000	0.3	135,000	0.2	75,000	55.6
	法人事業税交付金	470,000	0.7	400,000	0.6	70,000	17.5
	地方消費税交付金	4,000,000	6.2	3,900,000	5.8	100,000	2.6
	ゴルフ場利用税交付金	38,000	0.1	32,000	0.0	6,000	18.8
	環境性能割交付金	115,000	0.2	94,000	0.1	21,000	22.3
	地方特例交付金	254,000	0.4	745,000	1.1	△ 491,000	△ 65.9
	地方交付税	6,600,000	10.2	6,100,000	9.1	500,000	8.2
	交通安全対策特別交付金	42,000	0.1	40,000	0.1	2,000	5.0
	国庫支出金	8,748,267	13.5	7,930,759	11.8	817,508	10.3
	県支出金	4,204,000	6.5	4,026,902	6.0	177,098	4.4
	市債	4,795,900	7.4	9,583,600	14.3	△ 4,787,700	△ 50.0
	小 計	30,347,167	46.8	33,801,011	50.3	△ 3,453,844	△ 10.2
歳入合計	64,830,000	100.0	67,180,000	100.0	△ 2,350,000	△ 3.5	



② 財源の構成比

自主財源・依存財源の内訳及び構成比



1 自主財源

公共施設整備基金繰入金や普通財産売払収入の減額などはあるものの、景気回復による個人・法人市民税やコロナ禍対策としての家屋・償却資産の軽減措置終了による固定資産税など市税の増額、ふるさと納税寄附金の増額などにより、前年度比11億384万4千円増の344億8,283万3千円を見込みました。

2 依存財源

国の地方財政計画を勘案した地方交付税の増額や新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る国庫支出金の増額などはあるものの、磐田市民文化会館の整備完了に伴う市債の減額や、「新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金」など地方特例交付金の減額などにより、前年度比34億5,384万4千円減の303億4,716万7千円を見込みました。

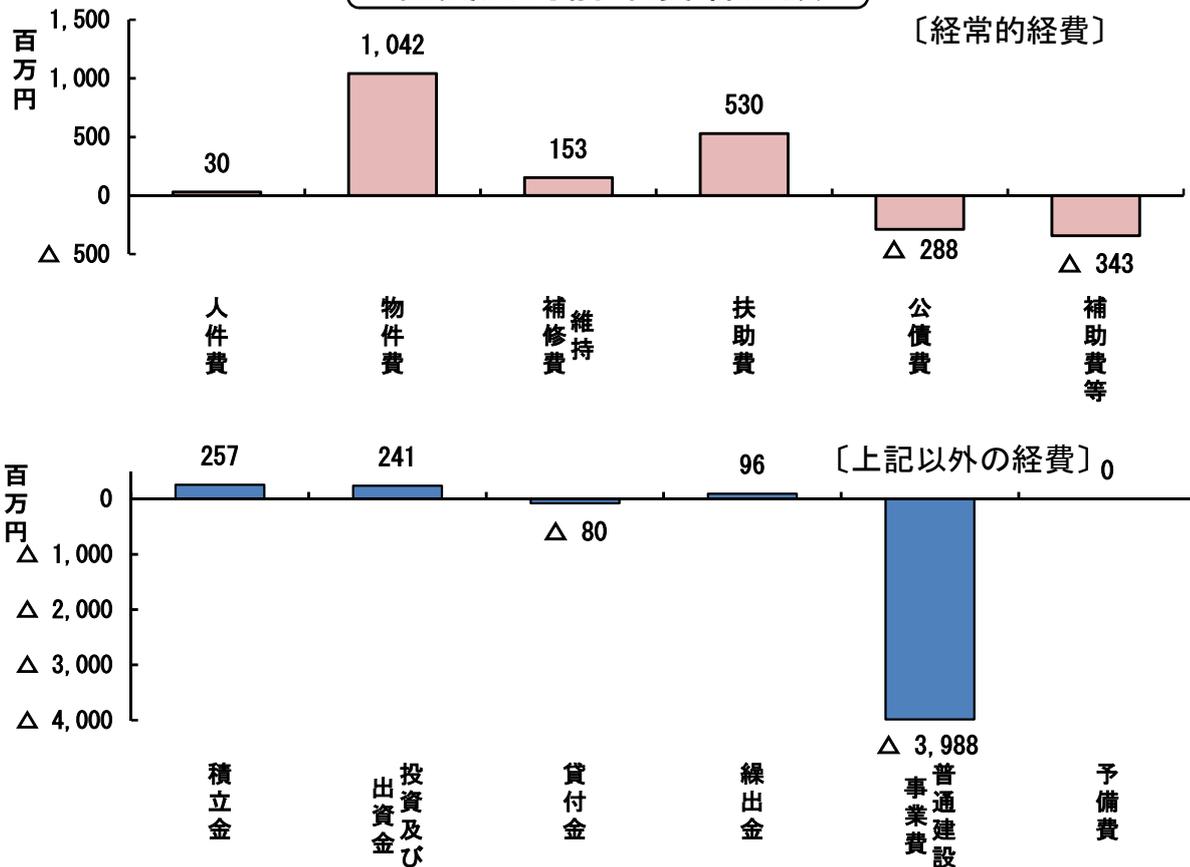
構成比は、自主財源は前年度比3.5ポイント増の53.2%、依存財源は46.8%となりました。

③ 歳出

(単位：千円、%)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B	
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)			
経常的経費	人件費	11,422,528	17.6	11,392,367	17.0	30,161	0.3
	物件費	10,926,370	16.9	9,884,414	14.7	1,041,956	10.5
	維持補修費	899,627	1.4	746,895	1.1	152,732	20.4
	扶助費	13,215,868	20.4	12,685,496	18.9	530,372	4.2
	公債費	5,308,682	8.2	5,597,165	8.3	△ 288,483	△ 5.2
	補助費等	6,793,110	10.5	7,136,357	10.6	△ 343,247	△ 4.8
	小 計	48,566,185	74.9	47,442,694	70.6	1,123,491	2.4
その他の経費	積立金	755,041	1.2	497,916	0.7	257,125	51.6
	投資及び出資金	1,823,639	2.8	1,582,451	2.4	241,188	15.2
	貸付金	1,021,582	1.6	1,101,633	1.6	△ 80,051	△ 7.3
	繰出金	5,357,330	8.3	5,261,207	7.8	96,123	1.8
	小 計	8,957,592	13.8	8,443,207	12.6	514,385	6.1
投資的経費	普通建設事業費	7,206,218	11.1	11,194,094	16.7	△ 3,987,876	△ 35.6
	災害復旧事業費	5	0.0	5	0.0	0	0.0
	小 計	7,206,223	11.1	11,194,099	16.7	△ 3,987,876	△ 35.6
予備費	100,000	0.2	100,000	0.1	0	0.0	
合 計	64,830,000	100.0	67,180,000	100.0	△ 2,350,000	△ 3.5	

性質別対前年度増減額



④ 性質別歳出の概要

1 人件費

新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る会計年度任用職員給与費の皆増などにより、前年度比 3,016 万1千円増の 114 億 2,252 万8千円となりました。

2 物件費

磐田市民文化会館整備に伴う備品購入費やジュビロ磐田J1復帰・地域の元気づくり応援事業に係る委託料の皆減などはあるものの、新型コロナウイルスワクチン接種事業に伴う委託料の皆増やふるさと納税推進事務に係るカード決済手数料の増、市民文化会館の施設管理に伴う経費の増などにより、前年比 10 億 4,195 万6千円増の 109 億 2,637 万円となりました。

3 維持補修費

体育施設や衛生プラント施設など、公共施設の改修・修繕に係る経費の増により、前年度比 1億 5,273 万2千円増の8億 9,962 万7千円となりました。

4 扶助費

民間認可保育園等の施設型給付費やこども医療費の増などにより、前年度比5億 3,037 万2千円増の 132 億 1,586 万8千円となりました。

5 補助費等

ふるさと寄附金返礼品の増などはあるものの、個人番号カード等関連事務委託交付金の皆減、公共下水道事業負担金や中遠広域事務組合ごみ処理施設負担金の減などにより、前年度比3億 4,324 万7千円減の 67 億 9,311 万円となりました。

6 積立金

公共施設整備基金積立金の減などはあるものの、ふるさと納税寄附金収入見込みの増に伴う津波対策事業基金積立金、しっぺいこども福祉基金積立金の増などにより、前年度比2億 5,712 万5千円増の7億 5,504 万1千円となりました。

7 投資及び出資金

病院事業会計出資金、公共下水道事業出資金の増により、前年度比2億 4,118 万8千円増の 18 億 2,363 万9千円となりました。

8 貸付金

勤労者協調融資事業による住宅建設資金協調融資制度貸付金の減により、前年度比 8,005 万1千円減の 10 億 2,158 万2千円となりました。

9 繰出金

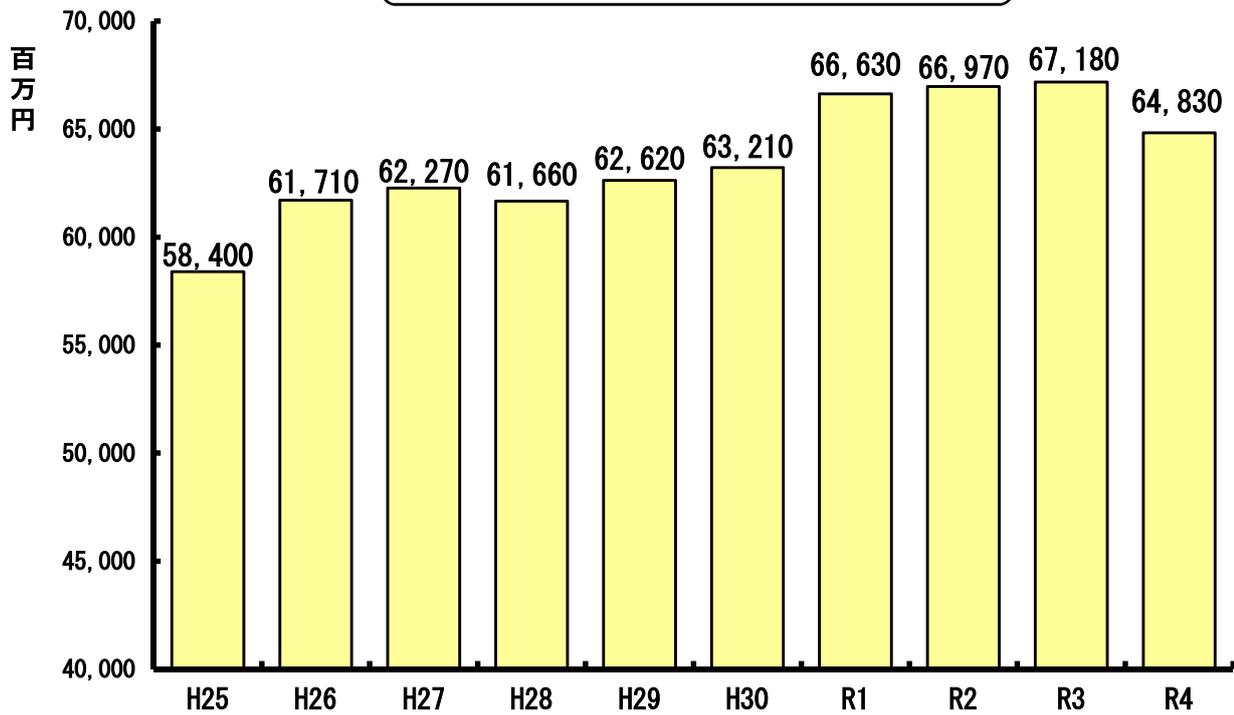
国民健康保険事業特別会計繰出金の減はあるものの、後期高齢者医療広域連合負担金や介護保険事業特別会計繰出金の増などにより、前年度 9,612 万3千円増の 53 億 5,733 万円となりました。

10 普通建設事業費

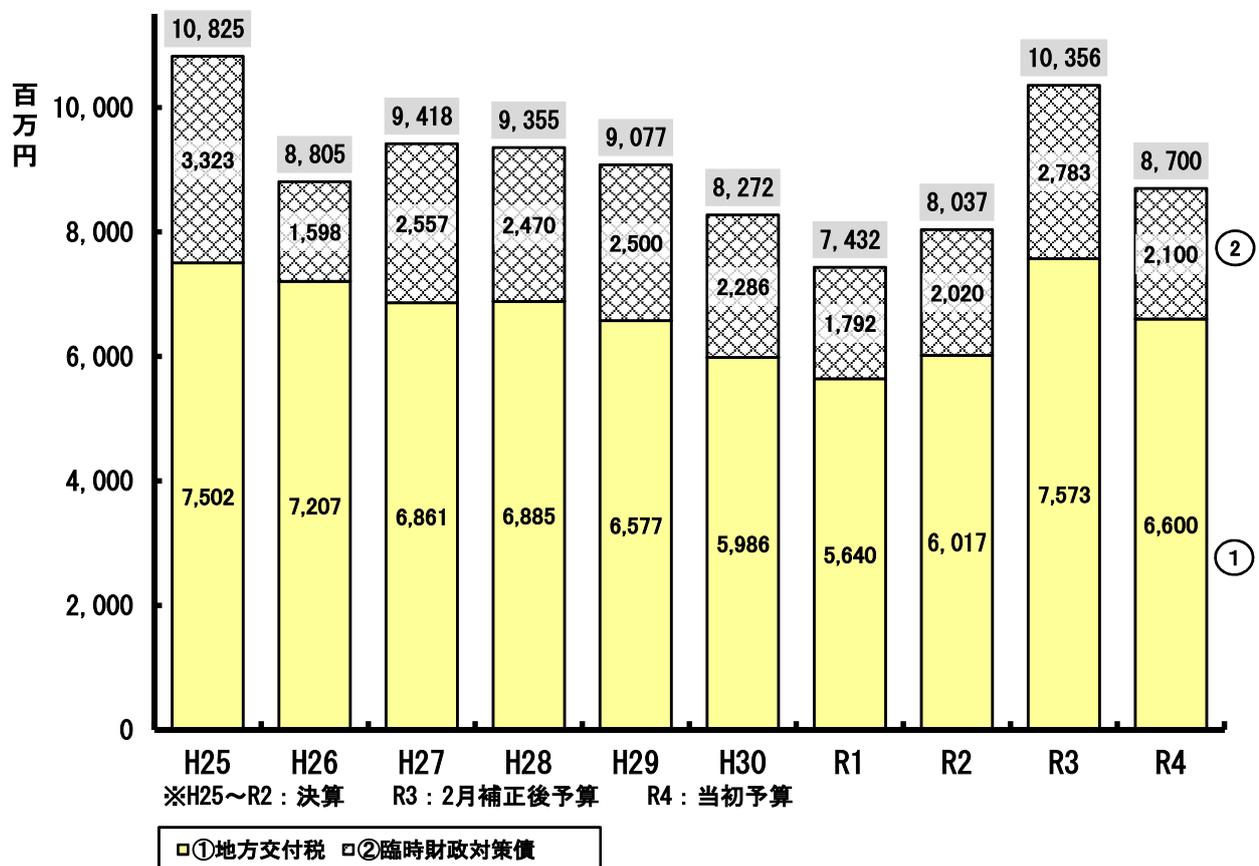
海岸堤防整備事業の増や旧市民文化会館建物解体工事の皆増などはあるものの、(仮称)磐田市文化会館整備事業やながふじ学府新たな学校づくり整備事業の皆減などにより、前年度比 39 億 8,787 万6千円減の 72 億 621 万8千円となりました。

(3) 一般会計予算額等の推移

一般会計当初予算額の推移

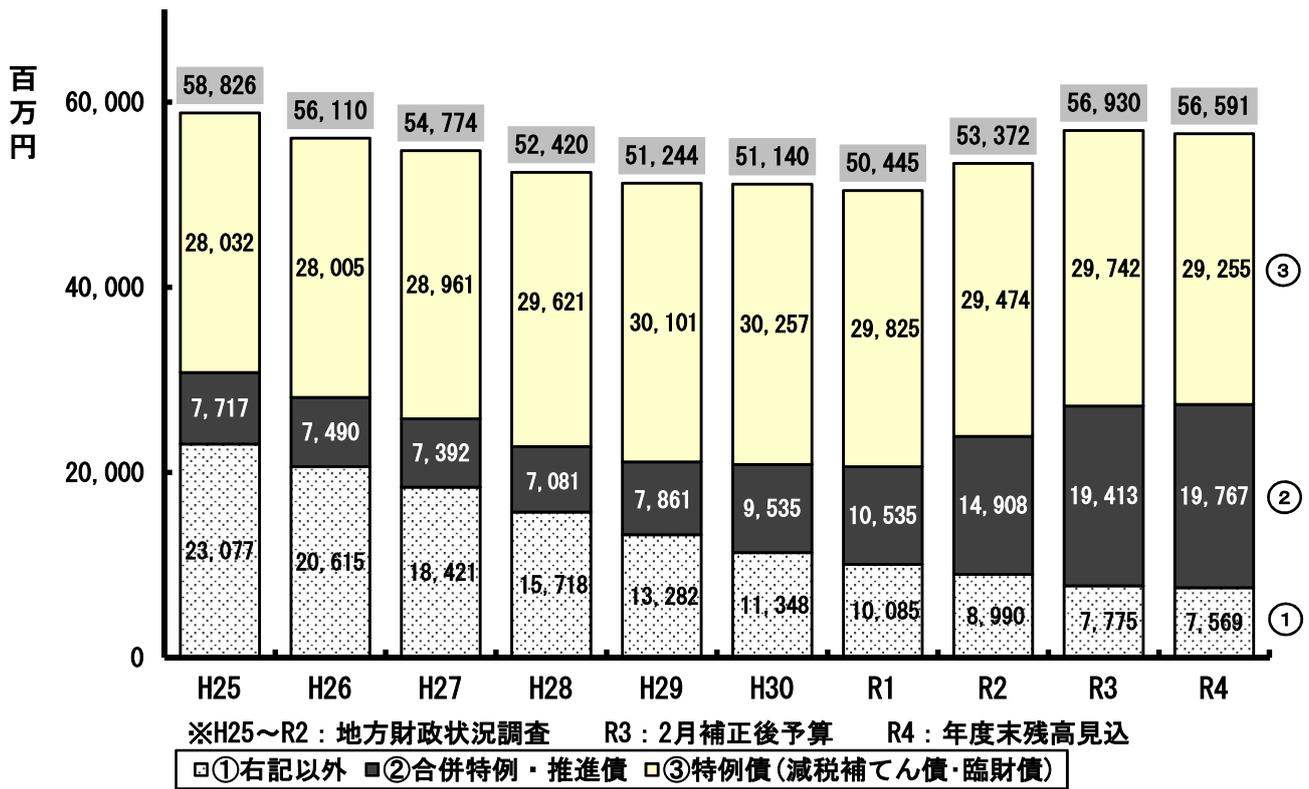


地方交付税・臨財債の推移

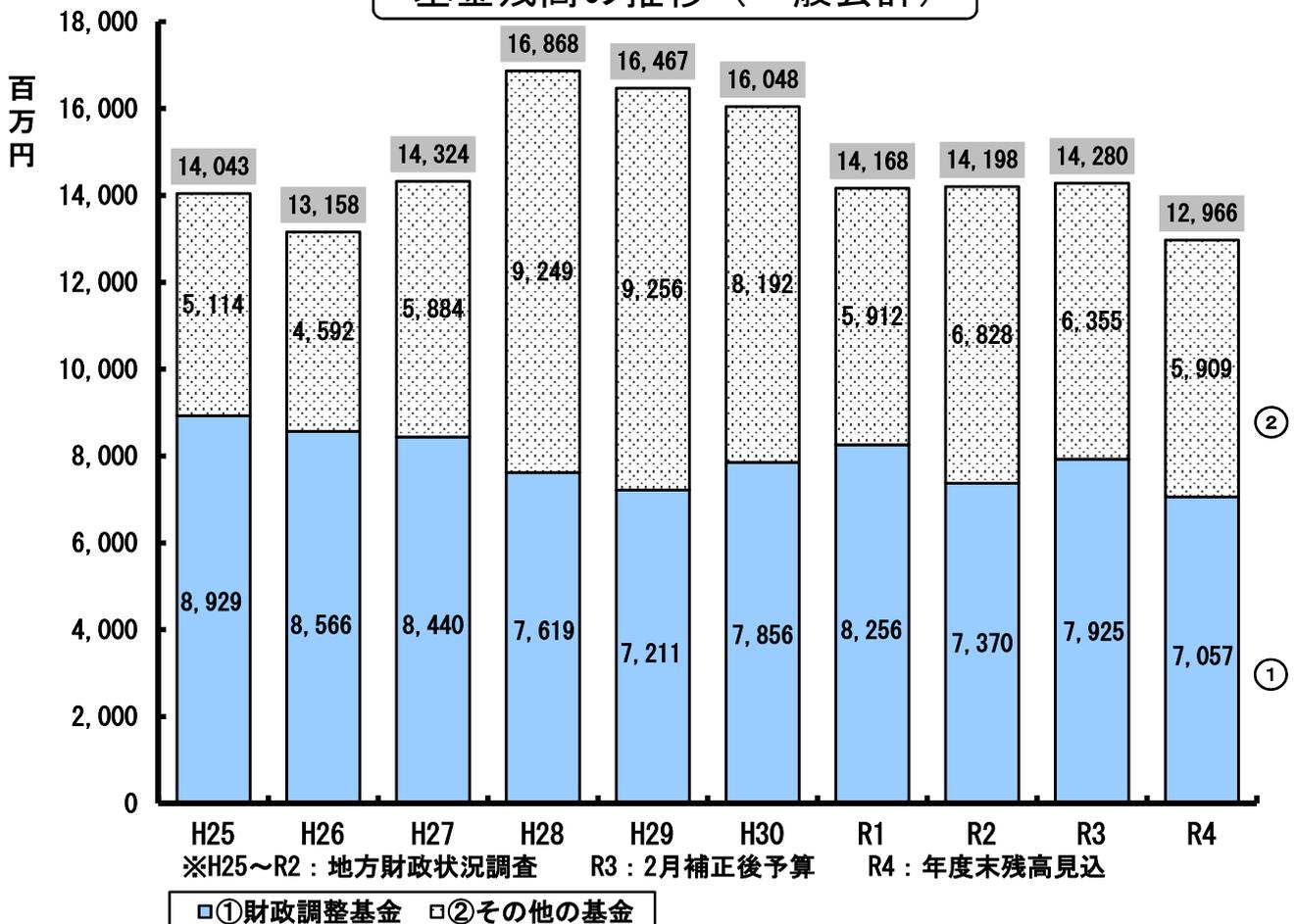


(4) 市債・基金残高の推移

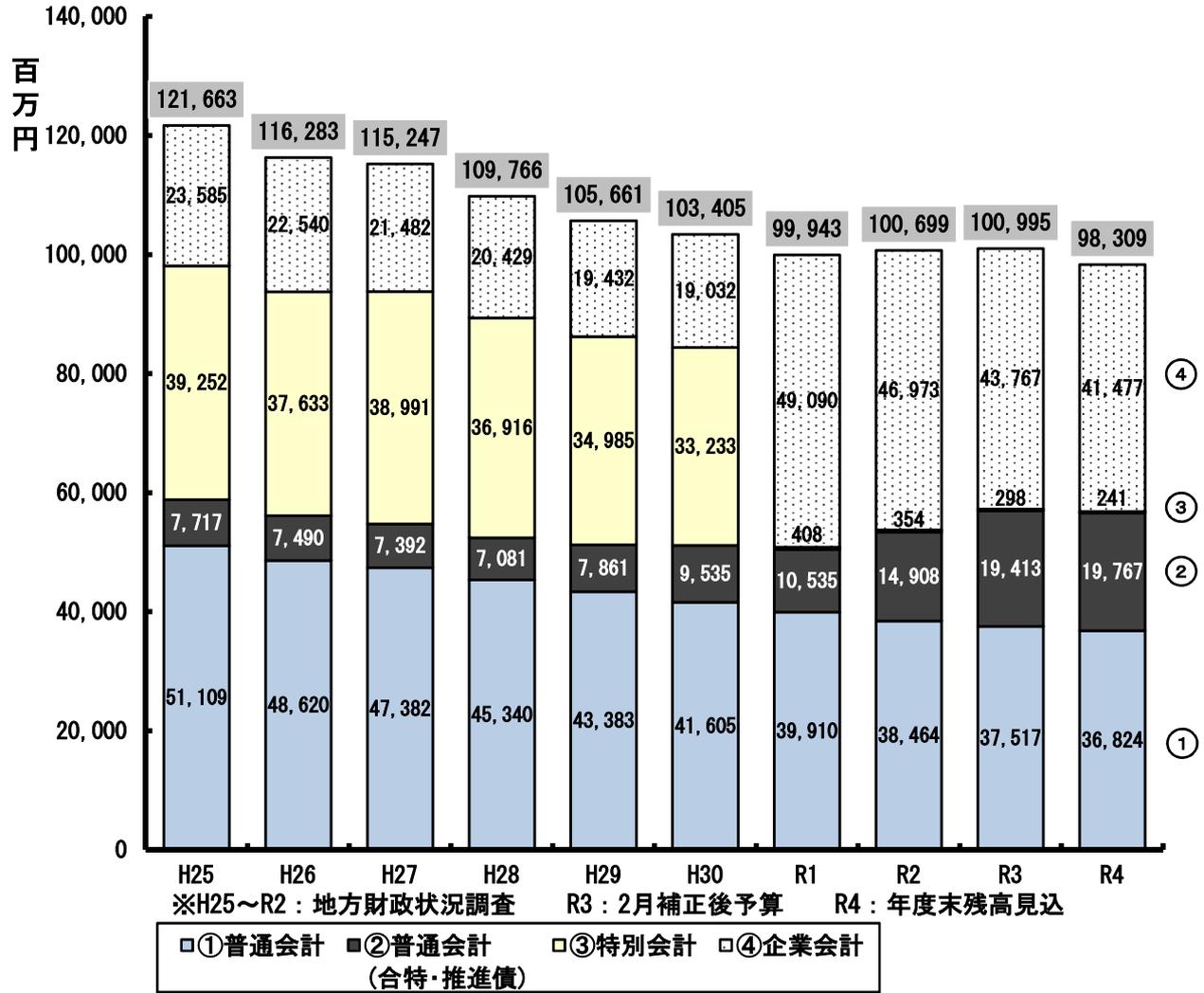
市債残高の推移(一般会計)



基金残高の推移(一般会計)



市債残高の推移(全会計)



※令和元年度より農業集落排水事業及び公共下水道事業が特別会計から企業会計へ移行したことから、同会計の市債区分を変更しています。

3. その他の会計の概要

(1) 特別会計

① 駐車場事業特別会計

リベール磐田市営駐車場の管理運営経費及び、借入金に対する元利償還金を計上しました。

(単位：千円)

R 4年度予算額	R 3年度予算額	増減額	増減率(%)
86,007	82,383	3,624	4.4

② 国民健康保険事業特別会計

保険給付費、国民健康保険事業費納付金や保健事業費などの必要な経費を計上しました。主な財源は、保険税、県からの交付金や一般会計からの繰入金です。

(単位：千円)

R 4年度予算額	R 3年度予算額	増減額	増減率(%)
16,473,804	16,885,601	△ 411,797	△ 2.4

③ 後期高齢者医療事業特別会計

後期高齢者医療事業の円滑な運営のため、広域連合納付金等の必要な経費を計上しました。主な財源は、後期高齢者医療保険料及び一般会計からの繰入金です。

(単位：千円)

R 4年度予算額	R 3年度予算額	増減額	増減率(%)
2,183,823	2,002,720	181,103	9.0

④ 介護保険事業特別会計

介護保険事業計画に基づき、在宅及び施設における介護サービスの充実に伴う介護給付費等を計上しました。主な財源は、保険料、国・県・支払基金などからの負担金・交付金や一般会計からの繰入金です。

(単位：千円)

R 4年度予算額	R 3年度予算額	増減額	増減率(%)
13,764,422	13,399,340	365,082	2.7

⑤～⑧までの財産区特別会計は、財産区の管理運営に要する経費を計上したもので、主な内容は、財産区管理会の運営及び区有林の維持管理に要する経費です。

⑤ 広瀬財産区特別会計

(単位：千円)

R 4年度予算額	R 3年度予算額	増減額	増減率(%)
211	198	13	6.6

⑥ 岩室財産区特別会計

(単位：千円)

R 4年度予算額	R 3年度予算額	増減額	増減率(%)
77	77	0	0.0

⑦ 虫生財産区特別会計

(単位：千円)

R 4年度予算額	R 3年度予算額	増減額	増減率(%)
140	204	△ 64	△ 31.4

⑧ 万瀬財産区特別会計

(単位：千円)

R 4年度予算額	R 3年度予算額	増減額	増減率(%)
475	457	18	3.9

(2) 企業会計

①水道事業会計

水道事業の業務予定量としては、給水戸数63,800戸、年間総給水量21,447,216^m³、一日平均給水量58,759^m³を見込みました。

資本的収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

(単位：千円)

		R 4年度予算額	R 3年度予算額	増減額	増減率(%)
収益	収入	3,017,389	3,001,896	15,493	0.5
	支出	2,857,990	2,711,174	146,816	5.4
資本	収入	656,886	624,365	32,521	5.2
	支出	1,910,713	1,880,735	29,978	1.6

②下水道事業会計

下水道事業の業務予定量としては、排水区域面積3,432ヘクタール、年間総処理水量15,632,000^m³、一日平均処理水量42,827^m³を見込みました。

資本的収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

(単位：千円)

		R 4年度予算額	R 3年度予算額	増減額	増減率(%)
収益	収入	6,357,128	6,662,646	△ 305,518	△ 4.6
	支出	5,989,640	6,098,426	△ 108,786	△ 1.8
資本	収入	2,552,038	1,567,824	984,214	62.8
	支出	4,526,310	3,741,063	785,247	21.0

③病院事業会計

病院事業の業務予定量としては、入院患者数1日平均450人、年間164,250人、外来患者数1日平均1,200人、年間291,600人を見込みました。

資本的収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

(単位：千円)

		R 4年度予算額	R 3年度予算額	増減額	増減率(%)
収益	収入	18,974,993	18,220,698	754,295	4.1
	支出	19,543,027	18,688,386	854,641	4.6
資本	収入	1,942,001	2,442,569	△ 500,568	△ 20.5
	支出	2,835,255	3,298,505	△ 463,250	△ 14.0

<参考資料>

令和4年度 予算編成の基本方針

1 基本目標

「安心できるまち・人が集まる磐田市」

2 優先施策

① 「子どもたちの安心」

子どもを安心して生み育てられるよう、子育て世代への支援、教育格差を生まない支援体制の構築などにより、親も子どもたちも安心して豊かな未来が描ける環境づくりを進めるとともに、地域資源やICTを利用した教育により、たくましい若者に育てます。

② 「暮らしと健康の安心」

誰もが安心できる地域医療体制や地域包括ケアシステムの推進を図るとともに、障がい者の居場所づくりや就労支援を図ることなどによるセーフティネット作りを進めます。

③ 「まちづくりと防災への安心」

磐田市国土強靱化地域計画に基づいたインフラ整備と維持管理による、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策や、地球温暖化防止の取組みを進めます。

④ 「未来と仕事の安心」

地域産業の活性化、雇用創出に加え、大学や企業との連携を図り、新産業の創出、創業支援を推進します。また、スポーツや文化など、本市の価値ある素材を活用し、磐田の魅力を高めていきます。

⑤ 「安心できる市役所づくり」

若者や子どもたちを含め、世代を越えた多様な対話を進め、市役所を相談しながら共に考える場所とし、市政を開かれたものにします。